TOSHIBA （'99.09.　162）　2007.04.　162

施工上の注意

器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。

1.検知エリアを考慮して設置してください。

○センサーの特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。

○センサー正面に向かって人が近づく様な位置に設置しますと、検知エリアに沿って人が接近した場合器具のごく近くまで人が近づかないと、検知しない場合があります。

○器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁から1.5m以上離して取り付けるか、もしくはユニットの方向を調整してください。

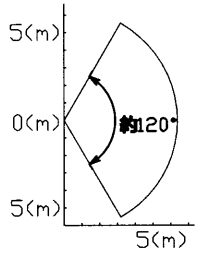
2.検知エリア内に障害物がある場所への設置はお避けください。　センサーが動作しない場合があります。

3.車のヘッドライトが直接当たる場所への取り付けはお避けください。　誤動作の原因となります。

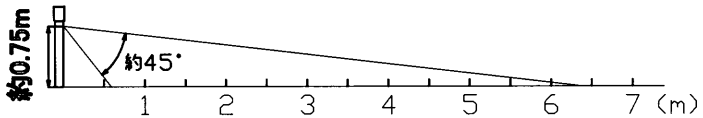
4.暖房器具の付近や、蒸気などが当たる温度変化の多い場所への取り付けはお避けください。誤動作の原因となります。

5.他社製の表示灯付き壁スイッチとの組合わせはできません。誤動作の原因となります。

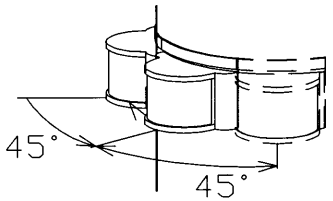
●水平検知エリア



●垂直検知エリア



●センサー可動範囲



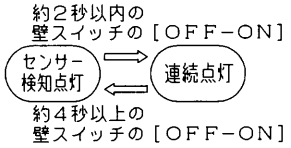
センサー部は、中心から左右にそれぞれ45°可動します。
センサーの検知範囲の設定方法は、センサー固定ねじを
ゆるめて左右方向に角度設定して下さい。
設定後は、しっかりと固定して下さい。

注意）　調整範囲以上無理に動かさないでください。

連続点灯

この器具の配線に壁スイッチを取付け、壁スイッチを操作することにより、周囲の明るさ、人体検知に関係なく器具を点灯させることができます。

■壁スイッチをOFFにしてから約2秒以内にONにすると連続点灯状態になります。
連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動的にセンサー検知点灯に戻ります。



■連続点灯状態の時に、壁スイッチをOFFにしてから約4秒以上たってからONにするとセンサー検知点灯状態になります。

（ご注意）

- 連続点灯中に壁スイッチ操作(約2秒以内にOFF～ON)を行った場合、タイマーがリセットされ、その時点から約8時間の連続点灯になります。
- 壁スイッチを使用しない場合は、 連続点灯に切り替えることができません。

センサー機能について

- この器具はセンサーユニット底面のツマミを調整することにより次の3つのモードに切り替えることができます。
- ゆっくり点灯（約5秒で100%の明るさ）・ゆっくり消灯（約6秒で消灯）します。

ON−OFFモード

■ 夕方暗くなり、検知エリア内に人が入りますと自動的に全光点灯し、
- 検知エリア内で人が動いている間は、連続点灯します。
- 検知エリアから人が離れたり、静止しますと約60秒後に自動的に消灯します。

■ 周囲が設定より明るいときは点灯しません。

調光モード

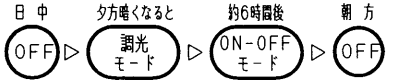
■ 夕方暗くなりますと、全光時の約20%の調光状態で自動的に点灯します。

■ 検知エリア内に人が入りますと、全光点灯となります。
- 検知エリア内で人が動いている間は、全光連続点灯します。
- 検知エリア内から人が離れたり、静止しますと約60秒後に調光点灯に戻ります。

■ 朝方設定照度より明るくなりますと、自動的に消灯します。

6時間調光モード

■ 夕方暗くなると、調光モードとなり、約6時間後に自動的にON−OFFモードに切り替わります。



電圧(V)	同梱ランプ	質量(kg)
100	ホワイトランプ LW110V54W ×1	4.2

承認	担当
清水	林
単位 mm	第三角法

防水性能	防雨形
形名	GDL−613
品名	東芝ガーデンライト
図番	AC2007-00048-01

東芝ライテック株式会社

＜生産完了 2010年05月29日＞